

# 財 政 課

平成 31 年 4 月 30 日現在における平成 30 年度の予算及び事務事業の執行状況について定期監査を実施したので、その結果について概要を述べる。

## 1 職員の配置状況

当課の職員は、課長 1 人、財政係 4 人、行政改革推進係 2 人、財産管理活用係 4 人の計 11 人である。

## 2 予算の執行状況

当課に係る歳入は、予算現額 76 億 7,854 万 6,000 円に対し、調定額 77 億 7,434 万 7,153 円、収入済額 77 億 7,428 万 2,673 円で収入率は対予算 101.2%、対調定 99.9%となっている。

歳入状況の内訳は次表のとおりであるが、地方交付税が 55 億 5,891 万 4,000 円（普通 47 億 5,717 万 1,000 円、特別 8 億 174 万 3,000 円）で、収入済総額の 71.5%を占めている。

### 歳入状況内訳

項 目	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対 予算	対 調定
	円	円	円	円	円	%	%
地方譲与税	150,742,000	154,855,000	154,855,000	0	0	102.7	100.0
利子割交付金	3,919,000	3,744,000	3,744,000	0	0	95.5	100.0
配当割交付金	4,292,000	4,144,000	4,144,000	0	0	96.6	100.0
株式等譲渡所得割交付金	2,212,000	4,845,000	4,845,000	0	0	219.0	100.0
地方消費税交付金	475,416,000	486,275,000	486,275,000	0	0	102.3	100.0
自動車取得税交付金	24,643,000	27,239,000	27,239,000	0	0	110.5	100.0
地方特例交付金	11,235,000	11,235,000	11,235,000	0	0	100.0	100.0
地方交付税	5,449,553,000	5,558,914,000	5,558,914,000	0	0	102.0	100.0
使用料及び手数料	95,000	95,540	95,540	0	0	100.6	100.0
財産収入	20,607,000	23,047,687	22,983,207	0	64,480	111.5	99.7
寄附金	2,291,000	12,291,000	12,291,000	0	0	536.5	100.0
繰入金	646,204,000	600,000,000	600,000,000	0	0	92.8	100.0
繰越金	467,096,000	467,096,764	467,096,764	0	0	100.0	100.0
諸収入	5,141,000	5,465,162	5,465,162	0	0	106.3	100.0

市 債	415,100,000	415,100,000	415,100,000	0	0	100.0	100.0
歳 入 合 計	7,678,546,000	7,774,347,153	7,774,282,673	0	64,480	101.2	99.9

一方歳出では、予算現額 23 億 4,213 万 2,000 円に対し、23 億 2,718 万 54 円の執行済額で、執行率は 99.4%である。

執行済額の主なものは、次のとおりである。

(1) 一般管理費

執行済額は 2,569 万 4,887 円で、事務補助員（電話交換手）の賃金 336 万 9,840 円、光熱水費を主とする需用費 959 万 5,040 円、通信運搬費を主とする役務費 186 万 775 円、大口庁舎清掃及びビル管理業務、大口庁舎施設管理業務、大口庁舎警備業務、大口庁舎窓口管理業務などの委託料 1,044 万 7,311 円などが主なものである。

(2) 財政管理費

執行済額は 795 万 8,021 円で、需用費 200 万 6,765 円（消耗品費）、業務委託料 405 万円（統一的な基準による財務書類作成支援業務）、使用料及び賃借料 190 万 1,256 円（コピー機、ファクシミリの賃借料）である。

(3) 財産管理費

執行済額は 1,331 万 9,446 円で、修繕料を主とする需用費 43 万 1,810 円、建物総合損害共済分担金等の役務費 501 万 9,055 円、大口庁舎自家用電気工作物保安管理業務、大口庁舎別館空調機器点検保守、大口庁舎消防設備等点検業務、普通財産除草業務等の委託料 170 万 7,239 円、大口庁舎議場用空調機器修繕工事、大口庁舎高圧ケーブル敷設替え修繕工事、市有地ブロック塀改修工事の工事請負費 575 万 1,000 円などである。

(4) 企画調整費

執行済額は 38 万 5,000 円で、報償費 37 万 1,000 円（行政改革推進委員会謝金、新庁舎建設検討委員会謝金）と旅費 1 万 4,000 円（費用弁償）である。

(5) 基金費

執行済額の積立金は 6 億円（財政調整基金 2 億 5,000 万円、減債基金 2 億円、特定公有財産取得基金 1 億 5,000 万円）である。

(6) 公債費

執行済額は 16 億 7,982 万 2,700 円で、市債の元金償還金 15 億 9,977 万 3,596 円、利子償還金 8,004 万 9,104 円である。

(7) 予備費

硫黄山噴火の影響による川内川水質検査手数料等の経費 122 万 5,000 円、消防デジタル無線のサイレン装置（羽月西）移設工事 110 万円、大口温泉高熊荘湯試験業務委託料 65 万 9,000 円、西日本豪雨災害派遣に係る費用 139 万円、台風 24 号の被害に伴う郡山団地 10 号棟屋根漏水補修工事、倒木処理作業委託料、破損したロードミラーの設置工事、総合交流拠点施設倉庫解体工事の経費 515 万 6,000 円、市道 34 路線分の補修経費 400 万円、大口小学校給水管改修工事設計業務 174 万円、伊佐市役所大口庁舎高圧ケーブル布設替工事 87 万円、議会議事堂空調設置工事 421 万 2,000 円、ふるさと応援寄付金増加に伴う報償品 250 万円など合計 2,372 万 6,000 円が充用され、予算現額は、627 万 4,000 円となっている。

※繰越明許費

繰越明許費の歳入は、予算現額、調定額、収入済額ともに4,213万7,000円で、収入率は対予算、対調定ともに100.0%となっている。内訳は前年度繰越金である。

3 事務事業の執行状況

当課の主な事務事業の執行状況は、次のとおりである。

事業名	執行済額(円)	事務事業の内容及びその効果
庁舎清掃等管理事業	25,694,887	【事業内容】 大口庁舎の清掃、合併浄化槽・機械設備の保守、警備業務、大口庁舎の総合案内業務、市役所電話交換業務等。 【事業効果】 業務が停滞することの無いように維持管理に努めた。
財政運営事業	7,958,021	【事業内容】 予算の健全な執行管理、財務書類作成に関する業務。庁内のコピー機及び印刷機の集中管理、財務書類作成支援業務など。 【事業効果】 予算の健全な執行管理に努めた。統一的な基準による財務書類作成支援業務に着手した。
普通財産管理事業	13,319,446	【事業内容】 公有財産の適正な維持管理及び維持補修を行う。 【事業効果】 建物共済の加入手続き、大口庁舎、普通財産市有地の維持管理に努めた。
行政改革推進事業	27,200	【事業内容】 行政改革推進本部会議、行政改革推進委員会を各1回開催した。 【事業効果】 集中改革プランの進捗管理を行うことで、適正な現状把握と今後の取組みの推進を図った。
新庁舎建設検討事業	357,800	【事業内容】 新庁舎建設検討委員会を8回開催した。 【事業効果】 新庁舎建設の必要性並びに新庁舎の機能、規模及び建設候補地を審議していただき、伊佐市新庁舎建設基本構想及び伊佐市新庁舎建設候補地について答申を受けた。
特定公有財産取得基金	150,000,000	【事業内容】 庁舎建設に伴う積立金。 【事業効果】 庁舎建設に伴う費用を基金積立した。 基金残高 1,430,424,146円(平成31年4月30日現在)

財政調整基金	250,000,000	<p>【事業内容】 将来における財政の健全な運営に資するための基金。</p> <p>【事業効果】 財源の健全な運営に努めた。</p> <p>基金残高 5,480,000,000円（平成31年4月30日現在）</p>
減債基金	200,000,000	<p>【事業内容】 市債の償還及び市債の適正な管理に必要な財源を確保するための基金。</p> <p>【事業効果】 将来の公債費元金の増加に備え年度間の平準化を考慮し、積み増しを行い、必要な財源の確保に努めた。</p> <p>基金残高 943,862,015円（平成31年4月30日現在）</p>
地方債償還事業	1,679,822,700	<p>【事業内容】 現在までに借入した地方債残高の元金の一部及びその利子分を償還する事業。</p> <p>【事業効果】 地方債残高の元金の一部及びその利子分を償還した。</p> <p>地方債残高 16,199,094,546円（平成30年度末現在）</p>

#### 4 委託の契約並びに実施状況

補助 単独 の別	委託業務名	契約金額 (円)	契約の 相手方	契約 の方法	契約の期間
単独	大口庁舎清掃及びビル管理業務	1,408,320	(株)大口ビルサービス	随意契約	H30.4.1 ～H31.3.31
単独	大口庁舎合併浄化槽管理業務	583,200	(有)大口・伊佐清掃社	随意契約	H29.4.1 ～H31.9.30 (長期継続契約)
単独	大口庁舎施設管理業務	5,818,443	(社)伊佐市シルバー人材センター	随意契約	H30.4.1 ～H31.3.31
単独	大口庁舎窓口管理業務	1,413,600	伊佐市職員互助会	随意契約	H30.4.1 ～H31.3.31
単独	大口庁舎警備業務	362,880	第一相互警備保障(株)	随意契約	H29.4.1 ～H31.9.30 (長期継続契約)
単独	大口庁舎自家用電気工作物保安管理業務	356,400	長町電気事務所	指名競争	H29.4.1 ～H31.3.31 (長期継続契約)
単独	大口庁舎別館空調機器点検保守業務	276,480	三菱電機ビルテクノサービス(株)九州支社	随意契約	H30.5.28 ～H31.3.29
単独	大口庁舎消防用設備等点検業務	388,800	秋山電気商会	指名競争	H30.6.20 ～H31.3.29
単独	大口庁舎非常用発電機保守点検業務	195,588	ニシハツ株式会社	随意契約	H31.1.28 ～H31.3.29

単独	普通財産除草業務（旧十曾養魚場ほか12箇所）	1,029,483	(株)伊佐市シルバー人材センター	随意契約	H30.4.23 ～H30.10.31
単独	普通財産除草業務（旧法務局横ほか8箇所）	321,356	社会福祉法人 慈和会 工房あけぼの	随意契約	H30.4.23 ～H30.10.31
単独	統一的な基準による財務書類作成支援業務	9,715,000 (前金払額 4,050,000 翌年度繰越額 5,665,000)	株式会社 地域科学研究所 鹿児島事務所	随意契約	H31.1.23 ～H32.3.19(予定)

## 5 工事の契約並びに実施状況

補助単独の別	工事名	工事内容	契約金額(円)	契約の相手方	契約の方法	着工年月日	完成年月日
単独	市有地ブロック塀改修工事	市有地ブロック塀改修2か所(大口里・大田)	729,000	(有)原田建設	指名競争	H31.3.6	H31.3.29
単独	大口庁舎高圧ケーブル敷設替え修繕工事	大口庁舎高圧ケーブル敷設替え	810,000	(有)瀬戸口電設	指名競争	H30.12.6	H30.12.25
単独	大口庁舎議場用空調機器修繕工事	議場用空調機器修繕	4,212,000	三菱電機ビルテクノサービス(株)九州支社	随意契約	H31.2.7	H31.3.28

## 6 市債及び債務負担行為の状況

市債事務（一般会計）

（単位：千円）

市債名	金額	市債名	金額
臨時財政対策債（財政課分）	415,100	辺地対策事業債（前借）	11,200
公共事業債	4,600	災害復旧事業債（前借）	1,900
過疎対策事業債（ツグ）	108,500	緊急防災・減災事業債	8,300
過疎対策事業債（ハート 前借）	472,300	合計	1,021,900

（注）前借：翌年度に繰り越した事業がある場合は、当該年度分は前借扱いとなる。

## 【明許繰越分】

(単位:千円)

市債名	金額	市債名	金額
過疎対策事業債 (H29 同意分本借 前借:1,623,700)	140,500		
防災対策事業債(自然災害防止事業) (H29 同意分本借 前借:620)	980	合 計	141,480

平成 31 年 5 月末日における一般会計市債の残高は、次のとおりとなる見込みである。

平成 29 年度末 元金残高 (A)	平成 30 年 度		
	借入額 (B)	元金償還額 (C)	年度末元金残高見込 (A+B-C)
16,635,488,142 円	1,163,380,000 円	1,599,773,596 円	16,199,094,546 円

また、平成 31 年 5 月末日における債務負担行為による債務残高は 6 億 6,281 万 9,109 円となる見込みである。債務残高の主なものは、ほ場整備事業負担金 1 億 9,163 万 1,762 円、一般廃棄物最終処分場維持管理事業委託料 1 億 2,534 万 9,000 円、衛生センター管理事業委託料 7,008 万円、一般廃棄物(可燃物)収集運搬業務委託料 1 億 6,020 万 2,880 円、中学校スクールバス運行事業委託料 3,564 万円などである。

## 7 基金の管理状況

## (1) 財政調整基金等

(単位:円)

基金の名称	平成 30 年度 当初現在高	平成 30 年度 増減額	平成 31 年 3 月 31 日現在	出納整理期間中		平成 30 年度 末見込額 (H31.5.31)
				取崩し	積立	
財政調整基金	5,868,000,000	△350,000,000	5,518,000,000	38,000,000	0	5,480,000,000
減債基金	743,862,015	200,000,000	943,862,015	0	0	943,862,015
特定公有財産取得基金	1,280,424,146	150,000,000	1,430,424,146	0	0	1,430,424,146
土地開発基金	593,245,000	0	593,245,000	0	0	593,245,000
合 計	8,485,531,161	0	8,485,531,161	38,000,000	0	8,447,531,161

## (2) 土地開発基金

(単位:円)

区分	平成 30 年度当初現在高	平成30 年度中増減額	平成30 年度末見込額
現金	593,245,000	0	593,245,000
物件	0	0	0
計	593,245,000	0	593,245,000

基金の当年度末現在高は 5 億 9,324 万 5,000 円で、保有物件はなく現金 100%となっている。

## 8 財産の管理状況

### (1) 市有の土地及び建物

種 別	面 積	備 考
土 地	386,700.43 m <sup>2</sup>	宅地 74,308.42 m <sup>2</sup> 雑種地ほか 312,392.01 m <sup>2</sup>
建 物	7,071.78 m <sup>2</sup>	大口庁舎 3,955.60 m <sup>2</sup> 公用車庫ほか 3,116.18 m <sup>2</sup>

### (2) 市有地処分状況

処分執行事務名	地 目	件 数	面 積 (m <sup>2</sup> )	金 額 (円)
市 有 地 処 分	道 路	1	31.45	116,814
	用 悪 水 路	1	50.81	157,448
計		2	82.26	274,262

### (3) 貸付及び借入の状況

種 別	件数	面 積 (m <sup>2</sup> )	年間賃貸借料 (円)	備 考		
貸 付	土 地 (有償)	58	78,787.45	8,942,655	うち4件は年度末に 建設課へ所管替え	
	建 物 (有償)	6	712.40	522,570		
	土 地 (無償)	34	91,702.43	—		
	建 物 (無償)	8	479.46	—		
	計	土 地	92	170,489.88	9,465,225	
		建 物	14	1,191.86		
借 入	土 地 (無償)	1	11.20	—		

## 8 現地監査

市有地ブロック塀改修工事について現地監査を実施した結果、良好に施工、管理されていることを認めた。

また、大口宮人の伊佐交通観光の営業所・車庫用地貸付地、大口伊佐会営薬局の薬局事務所・駐車場貸付地、伊佐愛林(有)の現場事務所貸付地、牛尾校区コミュニティー協議会の地域活動推進広場貸付地、淡水養魚場跡地の土地・建物についても、良好に管理されていることを認めた。

## 9 その他

当課で整備保管されている財務に関する諸帳簿、各台帳については、おおむね良好に整備保管されていることを認めた。